



名古屋市議員 中田ちづこ



市政・調査活動報告書

【発行月】

平成20年5月



<http://www.nakata-chiduko.com>

・発行所 自民党名古屋市議員団

・住所 名古屋市中区三の丸3丁目1番1号
(名古屋市役所内)

・電話(代) 052-961-1111

・連絡先 中田ちづこ事務所

・住所 名古屋市中区大須二丁目13番26号

・電話 052-202-0330

・FAX 052-201-2500

名古屋市教育長に橘小学校改築の要望書を提出しました！

- ・平成20年5月12日(月)中国にて、四川大地震が発生しました。マグニチュード8.0 直下型・逆断層型地震の為被害が大きく、また、学校の倒壊などもあり、死者数万人にのぼる大災害が発生しました。
この地震により、中国だけではなく、日本を含め世界中の人々に、地震の脅威を目の当たりにしました。

四川大地震により倒壊する建物



- ・中部地方でも東海地震をはじめ、様々な地震の脅威があります。平成20年5月15日付 中日新聞では、中部地方で直下型地震が起きた場合、死者1万人以上、被害総額が33兆円ほどと試算されています。

- ・名古屋市では、公共施設の耐震化をはじめ様々な対策を行っておりますが、まだまだ万全とはいええない状況です。特に小学校の耐震化は、学区の指定避難所になるため、その重要性は益々高くなります。しかしながら、学校ごとの最低限の耐震化はできても特有の問題点などがあり、抜本的な解決には到らないものもあります。

- ・橘学区の橘小学校の校舎は、昭和33年度に改築され、建築後50年を経過しました。平成3年度～4年度に改修・耐震化補修工事を行いました。老朽化は著しいものになっております。



改築50年を超える橘小学校

さらに校地は6,823㎡で、市内の小学校の平均12,066㎡と比べ、きわめて狭小地なうえ、この中には、飛び地(1,197㎡)もあって大変使いづらい状況になっています。特に体育館などは狭小地ゆえに3階に位置する立体的な構造になっており、避難所として活用しようにもエレベーターが無く、高齢者の方や足に不安のある方など、大変不便を感じます。また、運動場も大変狭いため、運動会を開催しますと、テントの中の机の前や生徒の座る前まで白線を引かなくてはならず、大変危険です。こうした状況を解決するためには、学校施設全体について改築を含めた抜本的な整備が必要であると考えています。

(裏面へつづく)

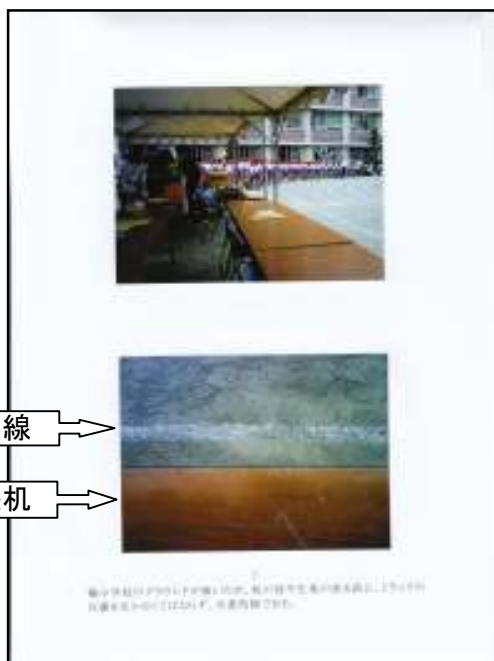


平成20年5月21日(水)
「橘小学校改築検討委員会」より
佐合広利教育長へ要望書提出

・そこで、市議員中田ちづこ（橘学区顧問）の声かけで、橘学区区政協力委員長、橘小学校PTA 会長・副会長及び橘小学校PTAOB会代表者、橘学区同窓会会長、伊勢山中学校PTA会長、橘学区消防団団長、橘学区子ども会会長、橘学区女性会会長、橘学区老人会会長、でまとめ、平成20年1月22日(火)に「橘小学校改築検討委員会」が発足しました。

・そして論議を重ね地元の要望をまとめ、平成20年5月21日(水)に名古屋市の佐合広利教育長に地元の代表の方の署名を添えて、要望書を提出しました。

要望書の一部です→



← 橘小学校のグラウンドが狭いため、テントの中の机の前や生徒の座る前に、トラックの白線を引かなくてはならず大変危険です。

- ・今後、橘小学校の建て替えを実現する為、「橘小学校改築検討委員会」にて議論を重ねていきますが、早急な結論や予算はすぐにでるものではありません。しかし、このまま何もしなければ、何十年たっても改築はされませんし、地震が発生し深刻な事態が起きてからでは手遅れです。中田ちづこは、10年後には橘小学校の新しい姿が見られるように全力を尽くします。
- ・今月は各種団体・組合等の定時総会が数多く開催され、また水防訓練など区の行事にも出席をいたしました。すべての活動を報告することは困難ですが、今後代表的な活動を「市政・調査活動報告書」で報告をさせていただきます。

名古屋市議員 中田 ちづこ